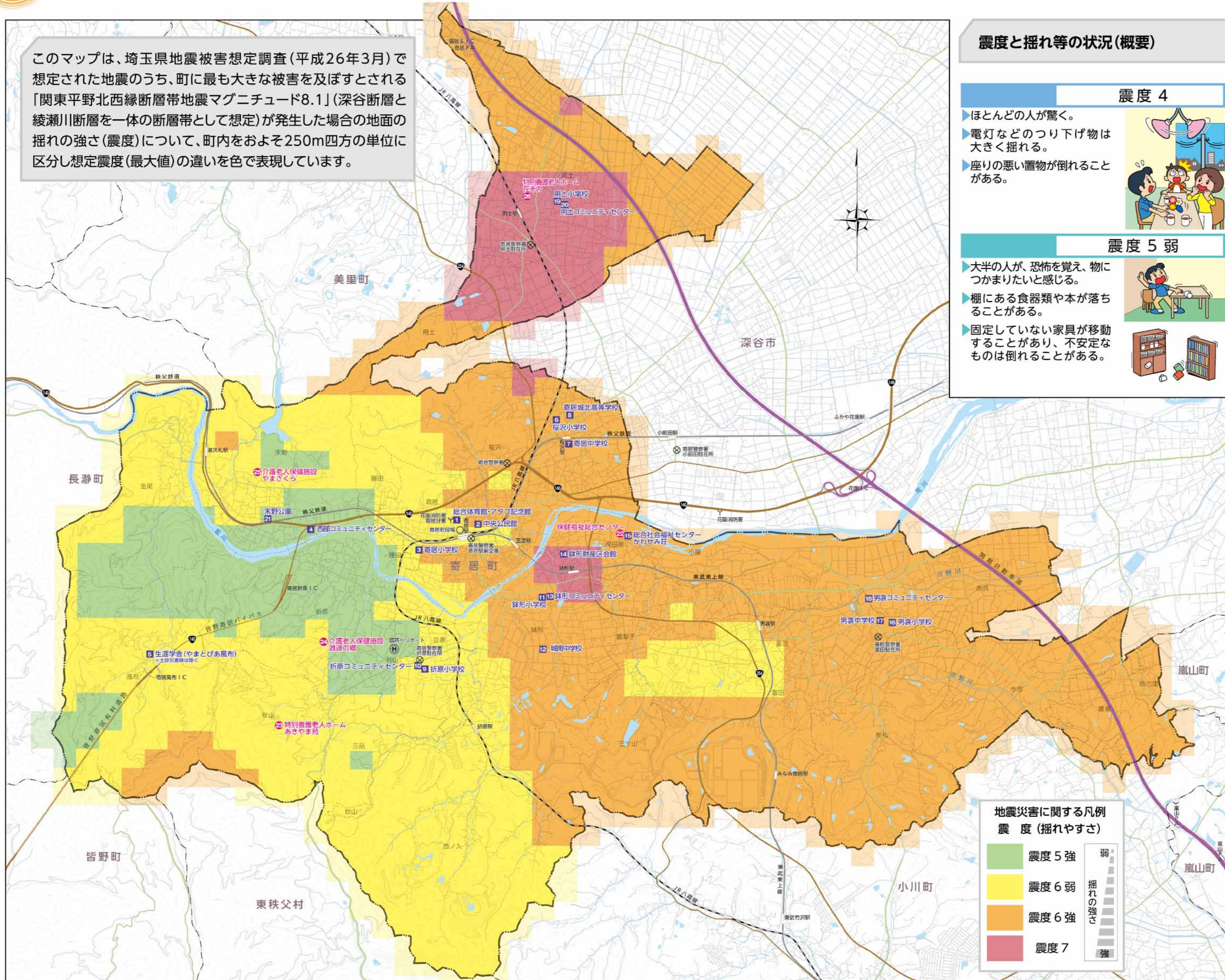




このマップは、埼玉県地震被害想定調査(平成26年3月)で想定された地震のうち、町に最も大きな被害を及ぼすとされる「関東平野北西縁断層帯地震マグニチュード8.1」(深谷断層と綾瀬川断層を一体の断層帯として想定)が発生した場合の地面の揺れの強さ(震度)について、町内をおよそ250m四方の単位に区分し想定震度(最大値)の違いを色で表現しています。



震度と揺れ等の状況(概要)

出典：気象庁

震度 4

- ▶ほとんどの人が驚く。
- ▶電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ▶座りの悪い置物が倒れることがある。



震度 5 弱

- ▶大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ▶棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ▶固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



震度 5 強

- ▶物につかまらなると歩くことが難しい。
- ▶棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- ▶固定していない家具が倒れることがある。
- ▶補強されていないブロック塀が崩れることがある。



震度 6 弱

- ▶立っていることが困難になる。
- ▶固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ▶壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ▶耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



震度 6 強

- ▶はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ▶固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- ▶耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- ▶大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

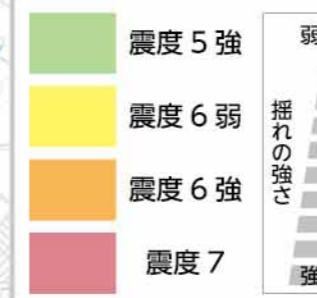


震度 7

- ▶耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- ▶耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ▶耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



地震災害に関する凡例 震度(揺れやすさ)



避難所等施設の凡例

1	指定避難所・指定緊急避難場所
22	福祉避難所
○	町役場
Y	消防署・分署
⊗	警察署・交番・駐在所
H	臨時ヘリポート